

## 沖縄の集落における子育ての共同組織に関する研究（その3） —名護市・宮里幼稚園の元保育士からの聞き取り—

嘉納英明\*

### A nursery school study in the community of Okinawa (Ⅲ) —Interview with teachers in Miyazato nursery school in Nago city—

KANO Hideaki

#### 要旨

本調査報告は、長年、名護市の宮里幼稚園で勤めていた保育士・奥原峯子氏へのインタビューの記録である。奥原氏は、宮里在住であったことから幼稚園の保育士として着任するが、その動機は、高齢者との関わりや子ども好きであったことがその理由であると語る。また、婦人会や公民館活動に連なる地域の活動として、また就学前の保育・教育活動として幼稚園を位置づけている。奥原氏の証言から、名護市内の他の幼稚園との協力により、合同運動会の実施が行われていたことは、単に幼稚園の活動が集落（字）単位の地域活動ではなく、広域の保育・教育活動を実践していたといえる。宮里幼稚園は、字公民館の理解と協力、保護者の幼稚園への協力により地域の子育て組織として活動が行われているのである。

キーワード：幼稚園 保育士 子育て 地域活動

#### 1. 本調査の目的と方法

本調査は、「沖縄の集落における子育ての共同組織に関する研究（その1）—名護市・宮里幼稚園の保育士からの聞き取り—」、及び、「沖縄の集落における子育ての共同組織に関する研究（その2）—名護市・宮里幼稚園の保護者からの聞き取り—」に続き、宮里幼稚園の元保育士からの聞き取りの記録である。これまでの幼稚園の現役保育士と保護者への聞き取りにより、宮里幼稚園は、保育士と保護者の信頼関係を日常的に築き、保育ニーズに対して柔軟性をもって対応してきたことがわかった。

\* 公立大学法人 名桜大学国際学群教授

今回は、主に、沖縄の日本復帰後の幼稚園活動の実態を浮き彫りにする作業として、当時の保育士への聞き取りを試みた。被インタビュー者の奥原峯子（宮里在住）さんは、宮里幼稚園の元保育士である。奥原さんは、報告（その1）で登場した宮里幼稚園の保育士の前任者であり、沖縄の日本復帰後の幼稚園活動に一貫して取り組んだ者である。また、戦後沖縄の集落公民館に附設された幼稚園の保育士の多くが無資格者であったように、保育士資格又は幼稚園教諭免許状を有していたわけではない。奥原さんは、宮里幼稚園では最後の無資格者の保育士であり、その後は、有資格者の保育士が就くようになる。その意味でも、無資格の保育士がどのように雇用され、保育活動を続けてきたのか、他の幼稚園（保育士）とのつながりはどのようなものであったか、保護者との関係はどうだったのかについて、興味深い証言をしている。なお、インタビューの内容は、文章化し、本人と内容の確認を行った。

#### 被インタビューーと調査日

奥原峯子（昭和16年生）2016年9月1日（木） 於：宮里公民館

## 2. 聞き取りの内容

### <幼稚園に勤めるきっかけ>

嘉納 御無沙汰しております。4年程前に幼稚園のお話を聞いて以来ですね。本日は宜しく  
お願い致します。今の幼稚園の比嘉先生と長山先生からは、既に、お話を聞きまして、  
あらためて、お二人の先生の以前の幼稚園のお話を聞きたいと考え、奥原先生にご足労  
おかけしました。早速ですが、幼稚園ではどれぐらい勤めていましたか。

奥原 34年間勤めていました。1974年、沖縄の復帰の2年後からずっと働いていました。  
2008年まで働いていましたね。辞めてから8年ぐらい経っています。

嘉納 この宮里幼稚園に勤めるきっかけを教えてください。

奥原 私はね、最初、民間の会社の経理をしていたんですよ。高校を卒業して、すぐに、パ  
イン工場の経理だったんですよ。14年間、経理の仕事をしましたよ。また、国道の向か  
いに南西ビルがあるでしょう。以前は、そこに名護伍詰という会社があったんですよ。  
その会社と合併したもんですから、一カ月、そこで残務処理をしていました。その頃、  
長男が大宮小学校に入学して、子どもの世話をしないといけないので、会社を辞めまし  
た。少し、学研等の配本等をしているときに、公民館の書記さんに声をかけて頂きまし  
た。その時の書記さんは、比嘉エミ子さんですね。その頃の幼稚園は、資格がなくても、  
勤めることができましたので、引き受けることにしました。当時、大城恵美子さんが宮  
里の幼稚園で勤めていましたが、彼女も、資格は持っていなかったですね。比嘉さんが  
どういうわけで私に声をかけたのかは分かりませんが、比嘉さんの二男と私の長男が同  
じ年だったので、お互い知ってはいましたから。大丈夫かな、私に勤まるかな、と思

ましたが、子どもは好きでしたから引き受けることにしました。

嘉納 幼稚園にお勤めになられるとき、どちらにお住まいがありましたか。

奥原 私は、名護市の東江の出身ですが、その頃には、結婚して大宮小学校の正門の下の方に住んでいました。

#### <幼稚園の運営状況>

嘉納 当時の幼稚園の活動の状況について聞かせてください。

奥原 子どもたちは、登園して来たら、基本は自由保育ですね。午前10時ぐらいから制作、紙芝居、散歩等をしました。子どもを連れてよく散歩にも行きました。

当時の子どもの数は非常に多かったですね。今の幼稚園は少ないようですが、当時は、60～70名もいました。宮里在住の子どもは特に多い。幼稚園はだいたい2名の先生で担当していました。私が入る前は、さっき話した大城恵美子さんともう一人いました。ほとんど、宮里の子どもが多かったですね。しばらくして、区費を支払えば、区外の子どもも入園できますよ、というようになりました。あくまでも、幼稚園の施設は、宮里区のもので、宮里の子どもたちに使わせて、区外の子は、区費を納めて、という感じでしたね。これは今も変わりません。

幼稚園での給料は、園児からの毎月の保育料を徴収し、年間予算を立て、その中から月々の給料を頂きました。一番多かったのは10万円でしたね。今は、宮里幼稚園は無認可保育園という扱いになっているので、市からもいくらか補助があるかと思いますが、私の時には、そんなものはありませんでしたね。保母は2名、区長は園長です。区長の任期は2年ですから、その間は園長でもあるわけです。入園式、卒園式、お遊戯会等の行事の時には、園長さんの挨拶も、もちろんあります。遠足の時には、園長さんから「気を付けなさいよ」という言葉があって。区長は、園長の仕事はちゃんとやっていましたよ。

話は変わりますが、大東区幼稚園の具志堅徹さんが父母会長の時、各園から一名、宮里からは大城恵美子さんが加わり、市役所に補助金の陳情をしました。そのおかげで、補助金がもらえるようになりました。補助金は出るようになりましたが、これは、先生方の給料に充てるのではなく、園の遊具代とかに充てなさいということでした。補助金の使途明細を市に提出し、約25～30万円程の補助を受けることができました。3月の年度末に、実際に購入した備品や遊具、紙芝居、その他の領収書を添えて報告しました。ほんとに助かりました。

嘉納 幼稚園の保母として、困ったこととか、ありませんでしたか。

奥原 私は、保育が専門じゃなかったもんですから、大変なこともありました。その頃、多動な子どもたちがいて、あちこち勝手に行ってしまうので、集落中、探しに行ったりもしました。2人で60名でしょう。そこに、多動な子ども。それは大変でした。今みたいに障害児教育とか、そんなことを特に勉強しているわけじゃないので。これがずっと続きました。幸いなことに幼稚園では大きな事故はなかったですね。小さな擦り傷はよく

ありましたけど。子どもが擦り傷でもあれば、「こんな傷はなんでもない」「ケンカして友達になるんだから」とか言っていましたね。一度、子どもが怪我をしたことがあったんですね。怪我と言っても大きな怪我ではなかったんですが、親がなかなか納得しないもので、自宅まで行って説明しにいきました。最後は受け入れてくれましたけど。その後、子どもにも保険を入れるようになりました。幼稚園での活動で怪我でもしたら保険適用にしようということで、幼稚園が保険に入りました。今でも入っていますよ。大城恵美子さんは既に辞めていて、私よりも12歳年下の屋嘉千代子さんと一緒に活動をしていましたが、彼女は資格も持っていて、港区の幼稚園の経験者でした。

子どもが熱を出したら、今の保育園は、保護者を呼ぶでしょう。でも、私たちの頃は、家に帰さなかったですね。親も仕事で忙しいでしょう。だから、幼稚園でそのまま預かりました。子どもが風邪を引いていても、特に高熱ではなければ、そのまま預かっていましたね。

#### <合同運動会と他の幼稚園の保母との協力関係>

嘉納 市内の幼稚園の合同運動会があったようですね。

奥原 今は、宮里と大南の幼稚園しかありませんが、私が最初に勤めていた時は、ほとんど全ての自治会に幼稚園がありました。名護の総合グラウンドで、皆、集まって運動会をしました。毎年しました。340~350名ぐらい集まりました。小学校の運動会よりも盛り上がり、良かったですよ。

嘉納 他に、幼稚園の保母さんとの集まりとかはあったんですか。

奥原 ありましたよ。保母さんの勉強会も各園持ち回りでよくやりました。当時、幼稚園は10ヶ字以上にありましたので、合同運動会についてはブロック毎に集まり、遊戯や競技、エイサー、かけっこ、色々なことを話し合い、運動会に向けてみんな頑張りました。運動会前日のグラウンド設営からテント張り、また、当日の実行委員のお父さん、園児係のお母さん、皆が協力し合って幼稚園会の合同運動会を成し遂げました。名護のグラウンドで運動会をする前は、各校区の小学校の運動場を借りて運動会を行いました。ある年、名護小学校での運動会があって、どしゃぶりの雨が降り、テントは片づけないで帰りました。そしたら、夜になると台風が接近してきて、夜中、テントが隣の中学に飛ばされ、保母全員とお父さんたちで片づけたことがあります。また、大宮小学校でも、運動場はきれいに掃除して帰りましたが、夜の強風でごみが散らかっているとのことで学校から呼び出され、ほうきをかついで運動場の掃除をしたこともあります。

クリスマスのお楽しみとして、児童センターで人形劇をやりました。園児と父母にクリスマスのプレゼントです。午前と午後に分けて上演しました。若い先生方を中心に人形劇や職員劇、黒子をかぶって保母さん全員で頑張り、園児や父母に大変喜んでもらいました。最後はいつも「あわてんぼうのサンタクロース」の歌と手話で閉じました。素敵な思い出です。幼稚園の先生方、みんなに感謝です。

### <公民館幼稚園>

嘉納 公民館に幼稚園があった頃をご存知ですか。

奥原 復帰前は、公立の幼稚園がなくて、字に幼稚園があったんですね。それが、公立の幼稚園が出来ることになった。すると、公立の幼稚園に入園できるのは5歳児で、3～4歳児は入園できないことになった。当時の区長は、「じゃあ、年齢を下げて園を継続しよう」ということになって、幼稚園が出来た。宮里だけの話じゃないですよ。他の区も一緒。施設はもったいないし、子どもは多いので、区長さんの判断で園がそのまま継続されましたね。区民は区費を払っていたら、幼稚園は当然入れると思っているものですから、沢山の子どもが来ましたね。その沢山の子どもを2名で受け持つわけですから、それは、大変でした。

### <保護者の幼稚園選択の理由>

嘉納 子どもは随分と減りましたが、今でも宮里幼稚園は運営されていますね。この幼稚園の良さって何だと考えますか。保護者が幼稚園を選ぶ理由って何でしょうか。

奥原 私は、環境だと思いますよ。私はいつもそう思うのですよ。幼稚園には広場はあるし、公民館の敷地も広いし、幼稚園には柵があるでしょう。これは地域の人が寄付したんですよ。子どもの安全面を考えてね。環境がいいから選ぶんじゃないかな。公民館も自由に使えますし。まあ、でも、幼稚園は楽しかったですね。私はなぜか老人と子どもが好きだったんですね。幼稚園の仕事は難儀とか、そういう感じはしなかったですね。地域活動という感じで幼稚園もしたし、長い間婦人会活動もしたし。婦人会では、踊りのサークルも作ったし。でも、家はピーピーさ、給料は少ないからね。でも、地域に貢献してきたからね。教え子では、もう、一番上は、50歳近くになりますからね。親からの相談も沢山ありました。

宮里の公民館のポーチは広いでしょう。だから、幼稚園が終わっても、親御さんたちがポーチで色々な話をするわけ。すぐには帰らないで。子どもを引き取った後も、子どもは側で遊ばせて、特に、公民館の広場は広いから。その間、お母さん方が、ゆんたくするわけですよ。お母さん同士、本当に仲がいいんですね。子どもの話、家庭の話。ツーカーの関係。遠くから来る親も近くの親も一緒になって子どもの話。そこに、私たちも話にはいるわけですよ。だから、保育所とはちょっと違う。保育所は、子どもを引き取ったらすぐに帰るけど、ここでは、結構色々な話をしますよ。非常に濃い関係が、親御さん同士にもあるし、私たちともあるしで。これも昔からありますよ、そんな感じは。親同士、模合とかやって、時々私も呼ばれて、ということもありましたよ。

嘉納 繰り返しになりますが、子どもの数は確実に少なくなって来ていますが、幼稚園が、今でも運営している理由は何だと思いますか。

奥原 やはり、施設もきちんとあるし、閉めるわけにはいかないという考えがあるのじゃないかな。また、幼稚園だけじゃなく、ここの保母さんは公民館の行事にも関わっている

ので。一旦閉めて、高齢者のデイケアみたいにしたらどうかという意見があったけど、それなりに改装しないとイケないし。

嘉納 奥原さん自身も34年間、幼稚園の保母をして来ましたが、いま、振り返ってみたら、どんな思いですか。

奥原 幼稚園で働いて、疲れたとか、いやになったとか、そういうことはなかったですね。楽しみだったんですね。私はお年寄りと話をするのも好きだし、子どもも大好きで、午前中は幼稚園、午後はお年寄りと関わることができたのは良かったですね。長女と次女と一緒に幼稚園でしたし。幼稚園の活動も、午後の婦人会の活動も一緒にしていた感じですね。お給料が少なかったのは、あまり関係なかったですね。当時、講習を受けて資格を取ることも出来ましたけど、子育てで忙しかったですね。今さら資格を取ろうとは思いませんでした。

話は、少し戻りますが、今でも子どもを預けに来てくれるのは、やはり、先生と保護者の仲がとても良いからだと思いますよ。保母さんと保護者との間に隔たりというか、壁がないんですよ。お遊戯会したら、「あの子は、あそこの子だよ」とか、本当に子どものことを皆が知っている。知らない子はいない、そんな関係。県外出身の方が子どもを預けて、そして卒園しても、時々、遊びに来てくれましたね。やっぱり、子どもも親も幼稚園が楽しかったんだと思いますよ。つながりが強いですね。保母は、沢山の子どもを見ないとイケないので、本当に大変だったけど、でも、宮里の年寄りからは、特別に大切にされましたね。老人会の準備や総会資料なんかの手伝いも随分としましたからね。公民館の職員と同じように仕事をしていましたね。進んで協力しましたよ。地域の人は、地域に溶け込まないとイケないじゃないかと思いますよ。人間関係は濃いですね。私は名護市の母子保健推進委員、保健婦さんの手伝い、それから妊産婦の家庭への訪問と長年に渡って協力してきました。これも幼稚園が午前中の活動だったため出来たと思います。また、国の調査、これは現在も続けています。

#### <公民館と幼稚園の関係>

嘉納 その幼稚園と公民館とのつながりというか、関係はどうなっていますか。

奥原 幼稚園は一千万円かけて作りましたね。私たちは、だいたい午後1時位には全部、終わるんですよ。幼稚園は、無料で使わせてもらっていますね。電気、水道代金も。だから公民館が忙しくなって、そこのお手伝いをする。電気代も水道代も払わないで、幼稚園を使っているから、公民館が豊年祭や行事があつて忙しくなったら、手伝いはすると。老人会のお手伝いもしますよ。他の先生方から「奥原先生、やりすぎだよ」と言われたりもしましたが、公民館から5万円程、幼稚園は補助をもらって、また施設も自由に使わせてもらっているの、お手伝いは当たり前だと考えていましたね。公民館は、青年会や婦人会にも補助を出していますよ。

嘉納 忙しい中、幼稚園時代の様子をたっぷり聞かせて頂きました。本当にありがとうございます

いました。

奥原 34年も地域の皆様に支えられ、好きな保母の仕事を終えることが出来ました。とても感謝しています。元園長の宮原信光さんと老人会の皆様からも、長年、ご苦労さんでした、と逆に感謝されました。私が辞めた時の園長であり区長だった宮原さんから、感謝状も頂き、私の宝物になりました。本当に地域の皆さん、有り難うございました、と言いたいです。

### 3. 聞き取りを終えて

奥原さんに、幼稚園に勤めるきっかけを始めとする幼稚園の活動状況についてインタビューを試みた。インタビューの内容をまとめると、次のように言える。

公民館幼稚園時代の保母の多くが保育士や幼稚園の免許状を持たない、いわゆる無資格者が勤めたように、奥原さんの場合も、同様であった。奥原さんは、高校卒業後の民間企業の経験を経て、宮里幼稚園に着任したわけであるが、宮里在任であったこと、公民館書記に声をかけられたことが契機となっている。奥原さんは、高齢者との関わりや子どもの世話が好きであったため、幼稚園保母を長年務めることが出来たと語るが、婦人会や公民館活動に連なる地域の活動として幼稚園を位置づけている。つまり、地域活動としての幼稚園教育ととらえているのであり、それゆえ、自然体で活動を担ってきたことが34年間、保母を続けることが出来たものだと考える。

子どもの数の多さに比べて保母の数は2名であることから、保育活動の質や安全面についてはかなりのご苦労があったと推察されるが、当時の名護市内の他の幼稚園との協力により、合同運動会の実施が行われていたことは、単に幼稚園の活動が集落（字）単位の地域活動ではなく、広域の保育活動を実践していたという点はもっと評価してよい。合同運動会の企画実施や学習会を通して保母同士が結びつき、その後の市役所への補助金要請活動へとつながったものとみることできる。

宮里幼稚園は、公民館から施設の便宜を図ってもらい、園の光熱料も公民館負担である。館長は園長を兼ね、公民館から幼稚園への補助もある。こうした公民館の支援を受けながら、幼稚園は、まさしく地域の教育施設として位置付き活動を展開してきたものといえるだろう。奥原さんが述べたように、「保母さんと保護者との間に隔たりというか、壁がないんですよ」という言葉に表されるように、保母と保護者、保護者同士の関係性が良好であるのは、日常的に、相互に関わり、対話での関係性が積み重ねられている。また、幼稚園は、単に子どもを預ける先として機能しているのではなく、保護者の交流の場、居場所としての機能を果たしているのである。

[本調査は、科学研究費補助金（課題番号：16K04560）による成果の一部である]

